

【情報収集・分析①】

クライアント・システムの背景

〈生きてきた歴史・現在の社会環境〉

(1) クライアントの心身の状況に関する基本情報 - 病名、身体機能、精神状態、認知力
ほか

(2) 生きてきた歴史を捉える基本情報

①家族歴・生活歴の情報（ジェノグラムの作成）

②生活史（年表の作成） - ライフイベント、学歴・職歴、病歴・治療歴、社会的経験
ほか

(3) 現在の社会環境を捉える基本情報

- ①生活状況 - 要介護者や家族の主訴・希望, 介護者の健康状態 (病名、心身の状態)
その他の注目すべき情報、サポーターの存在、住居の状況、経済状態、
地域近隣の関係 (お付き合い) ほか

- ②奥行き情報 - クライアントその人とクライアントのおかれている状況
に關係する特有の情報
(こだわり、生活習慣、諸所のキーパーソン、地域性、エピソードなど)

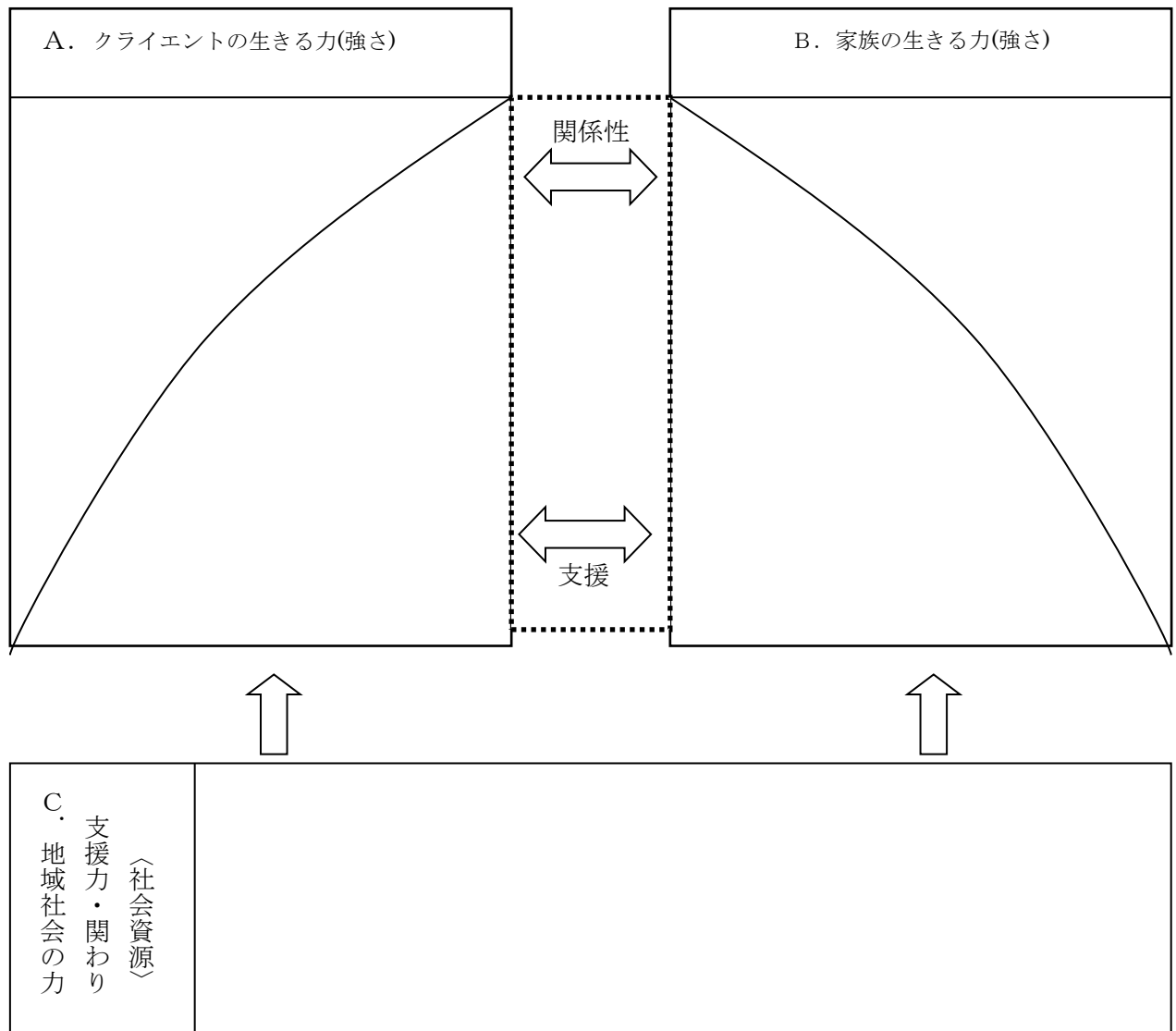
- ③家族力動のアセスメント (ファミリー・マップの作成) →家族システム

- ④クライアントと周囲との關係のアセスメント (エコマップの作成)

→クライアント・システム

【情報収集・分析②】 ニーズアセスメントと家族システム

I. 家族システムに対するアセスメントの視点



II. 家族システムへの理解 (臨床像)

<家族システムの関係性・家族関係の姿>

<家族システムにおける力・強さ>

<家族システムにおける問題・ニーズ>

【ワークシート①】自己の思考と傾向を点検するために

（ 援助者としての「私」をポジショニングする ）

↓-個人での考察-

-グループワークの内容-↓

テーマ1

〈主訴〉対象者側が伝えてきている（と思われる）こと …感情・認知

〈ニーズ〉対象者側が感じている（と思われる）こと …思い・考え

テーマ2

〈問題〉援助者側が『問題-解決しよう』と考えている（と感じられる）こと …判断・
対処

〈人〉援助者側は対象者を『どのような人（達）』と考えている（と感じられる）か …
認識・理解

①「Ⅱ」（援助者について）

「援助者（事例提供者）が困っていることは何か？」を確認する

②「Ⅰ」（クライアント理解を深める）

（人）どのような人か — 特性・持っている力 などを見極める

* クライアントが望み、また求めている内容は、どのような理由、経緯や背景からか？

* クライアントはどのようにして問題（困難）を解決しようと考えているか？

（問題）どのような状況におかれているかを見極める

* クライアントに起こっている出来事は何か。

* クライアントは何に困っている（悩んでいる）か？

* クライアントはどのように困っている（悩んでいる）のか？

* クライアントは、それを、いつ・どこで・だれに・どのように、訴えているか？

* クライアントが望んでいること（期待）は何か？→求める結果は何か？

* クライアントが期待の実現に向けて、具体的に求めていることは何か？

③「Ⅲ」（援助関係について考察する）

（場）何が起きているのか（関係性）どのような関係性にあるのかを考える

* 援助者とクライアントの関係（援助関係）はどのようになっていると考えられるか？

* 援助者の感じている問題、困難などは、どのような状況・理由から生じてきているか？

④「Ⅱ」（援助者の課題について共に考える）

（役割・機能）何をする立場で、（技能・方法）何ができるか どこまでできるか を話し合う

* あなたが考える有効な方法、解決策は何か？また、その理由は何か？

* あなたは、援助者にどのような問題提起、指摘、アドバイスを考えるか？

* 援助者の考えや姿勢、その対応などに対し、プラスの評価ができる場所は何か？

【ワークシート2】 臨床像を言語化する

グループ討議の内容を生かして、次の内容を考えてみよう。

①クライアント・システムを理解する

援助者としてとらえるべきクライアントの「人（どのような人）」と「問題（どのような状況におかれているか）」はどのように整理されるか

②スーパービジョンの焦点（問題の中核）を把握する

スーパービジョン過程において焦点化される（可能性のある）課題は何か？

③臨床像と問題の中核（援助者の抱えている課題の本質）を言語化する

臨床像（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）の中で、バイジーに生じている（いた）状況や課題はどのように捉えられるか。また、あなたは、その臨床像と問題の中核（構造）をどのような理論によって説明するか。